

国際地層対比計画493京都会議記念 特別講演会

エディアカラの幽霊をつかまえる **Ediacaran Ghost hunting**

日時：平成18年1月27日（金）午後3:45-5:45（博物館の入館受付は4時で終了しますのでご注意ください）

会場：京都大学総合博物館2Fセミナー室



国際地層対比計画プロジェクト493号は、ユネスコと国際地質学連合の下で推進されている地球史解明計画の一環として行われています。その目的は、多細胞動物の起源の解明で、世界中の研究者が協力して研究を進めています。今回は、多細胞動物の祖先かどうかを巡って大論争のあるエディアカラ化石生物群と呼ばれる奇妙な化石たちに焦点を当ててその謎に迫ります。講演は英語ですが、日本語による通訳があります。

講演1 「左右対称の生き物の過去の亡霊」

James W. Valentine ジェームス・W・ヴァレンタイン先生

米国 カリフォルニア大学 古生物学博物館・遺伝子情報総合センター 教授

今生きている動物の多くは左右対称です。このような体のつくりがエディアカラの化石ではあまり見ることが出来ません。はたして、このエディアカラの生き物は本当に今生きている多細胞動物の祖先なのでしょうか？また、祖先なら左右対称性はどのようにして生まれたのでしょうか。

講演2 「幽霊をつかまえる」-寒さで鍛えた多細胞動物の祖先達

Patricia Vickers-Rich パトリシア・ヴィッカーズ-リッチ先生

オーストラリア モナシ大学地球科学科 教授

多細胞動物の出現した頃、地球は赤道近くまで氷で被われたとされる史上最大の氷河時代に見舞われました。ひょっとすると、この出来事が多細胞動物の出現に大きな役割を果たしたかも知れません。パトリシア先生の推理を聴いてみましょう。

申し込み不要です！ 直接博物館へお越しください。

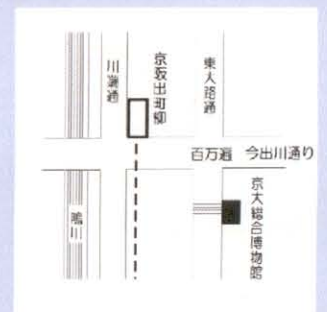
●対象：小学校高学年以上（小学生の場合には保護者同伴）

●参加費：無料ですが博物館への入館料は必要です（一般400円、大学生・高校生300円、中学生・小学生200円、幼児および70才以上であることの証明をお持ちの方は無料）

●問い合わせ先：〒606-8501京都市左京区吉田本町京都大学 総合博物館（電話075-753-3272）

●ホームページ

<http://www.museum.kyoto-u.ac.jp/indexj.html>



この行事は、京都府より委託の「京都大学地域子ども教室推進事業実行委員会（代表中坊徹次）」の事業の一環として開催します。



IGCP493
KYOTO 2006



MONASH University